

開催迫る! チケット好評発売中

“オルコン”前哨戦

来年(2012年)9月のコンクール出場権をかけ、イタリア、韓国、中国、日本から25名が集結。今から目が離せない!

世界から注目を集める最高峰のオルガンコンクールのひとつ

第7回 武蔵野市 国際オルガンコンクール

予備予選
(公開オーディション)



ビエランドレア・グラッチェ

ハン・ソンミ

疋田麻依子

堀切麻里子

井川絳奈

イ・ボウン

イ・ヘラン



イ・ツハ

森亮子

中田恵子

小田龍一郎

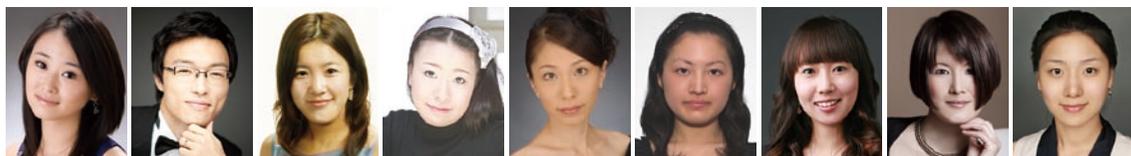
オ・チャンミ

大山智子

パク・ジョン

パク・セヒ

パク・ソエン



シン・ユアン

ソン・ジフン

竹口苗里

龍田優美子

富田真希

都築由理江

ヤン・チョンヒョン

吉村英子

ユ・ソラ

演奏曲目

1次選考 J.S.バッハ:
ソナタ BWV525, 527, 528より1曲

最終選考 J.S.バッハ、ロマン派の作品を含む
自由プログラム(1人30~40分)

2012年コンクール出場者は、本公開オーディションと来年3月に実施するCD&DVDオーディションにより選抜されます。公開オーディションからは、原則3名が来年9月のコンクールに進出予定。

1次選考 10月14日(金) 午後1時30分開演 全席自由 100円
(終演予定:午後9時。終演後、1次選考通過者発表)

最終選考 10月16日(日) 午後2時開演 全席自由 500円
(終演予定:午後8時。終演後、最終選考結果発表)

会場 武蔵野市民文化会館 小ホール

※アルファベット順。

※演奏順はオーディション前日に抽選で決まります。決定次第、下記ホームページで発表。

オルコン公式ホームページ:

www.musashino-culture.or.jp/iocm

公開オーディション審査委員



クリストファ・マムツァー(仏)
パリ音楽院教授



廣江理枝(日)
東京藝術大学准教授



パク・ソイン(韓)
韓国オルガニスト協会会長

公益財団法人 武蔵野文化事業団

www.musashino-culture.or.jp

●チケットのお申し込み

☎0422-54-2011

●チケット取り扱い窓口

●武蔵野市民文化会館 ●武蔵野芸能劇場 ●武蔵野公会堂 ●武蔵野スイングホール
●吉祥寺シアター ●吉祥寺市政センター ●武蔵境市政センター ●中央市政センター

時をこえて刻まれた想い・まなざし

生誕100年

Keiko Minami Retrospective Exhibition

南桂子展



《2人の少女と猫》1969年
エッチング、紙
群馬県立館林美術館蔵



《サン・ドニール・フェルマン》1965年
エッチング・ソフトグラウンドエッチング、紙
群馬県立館林美術館蔵



《少女とたこ》1968年
エッチング・ソフトグラウンドエッチング、紙
群馬県立館林美術館蔵

10月10日(月・祝)まで

企画運営= 財団法人NHK サービスセンター
企画協力= ミュゼ浜口陽三・ヤマサコレクション
協力= NHK エデュケーショナル
巡回先= 佐倉市立美術館 10月22日(土)~11月27日(日)
群馬県立館林美術館 12月10日(土)~2012年4月8日(日)

富山県出身の南桂子(1911-2004)は、詩作や絵画制作に親しみながら多感な少女時代を過ごし、戦後まもなく上京すると、浜口陽三との出会いによって銅版画制作へと目覚めていきました。その後、浜口とともに、1954年から約30年間をパリで、1982年から1996年に帰国するまでをサン

フランシスコで過ごし、長い海外生活の中で詩情あふれる世界を銅版画に残しました。

生誕100年を機に開催される本展は、銅版画を中心に油彩画、デッサン、原版など約100点を、節目となる時代別に再検証し、版画家・南桂子の姿を浮き彫りにします。

記念室のご案内 10月13日(木)~2012年2月19日(月・祝)まで

●浜口陽三記念室
まっすくな線と円やかなかたち

「まっすく」な線の要素を巧みにその構図に組み込むことで、うさぎや毛糸玉、果物などのモチーフの円やかさが引き立つ作品を展示。

《毛糸》1978年



●萩原英雄記念室
きこえてくる、響きあう

対象物のある空間全体を色や線が複雑に重なりあう版画で表現しようとした萩原作品の中から「音」をテーマにご紹介します。笛の音色やにぎやかな声、街の雑踏や風の音など、作品からあふれる音にココロの耳を傾けてみてはいかがでしょうか。

《サーカス No.1》1968年



次回展のご案内 11月12日(土)~12月25日(日) 休館日 11月30日(水)

池田満寿夫美術館所蔵
池田満寿夫展
組み合わせられたイメージのなかへ (仮称)

銅版画をはじめ、多方面で才能をあらわした池田満寿夫。モチーフの繰り返しやカラージュ、リトグラフなどあらゆる技法を駆使して構成された作品をご紹介します、その幻想的なイメージの世界へと誘います。



Keichoji Art Museum 武蔵野市立吉祥寺美術館

〒180-0004 武蔵野市吉祥寺本町1-8-16 F&Fビル(コビス吉祥寺A館)7階 ☎0422-22-0385
ホームページ http://www.musashino-culture.or.jp/a_museum/

開館時間: 午前10時~午後7時30分
休館日: 毎月最終水曜日(祝日の場合は翌日)
年末年始、展示替えおよび特別整理期間
入館料: 100円(小学生以下・65歳以上・障害者は無料)

交通案内 / JR、京王井の頭線「吉祥寺駅」中央口下車 徒歩3分